

大林宣彦監督が描く、珠玉のワンダーランドが遂にDVD & Blu-rayで登場!!

この空の花 - 長岡花火物語 DVD & Blu-ray

4月8日(火)販売開始!!

プレミアムBOX

DVD2枚組 『この空の花 -長岡花火物語』本編
映画の根『この空の花 -長岡花火物語』全記録

定価: 8,148円+税

DVD通常版

定価: 4,352円+税

Blu-ray通常版

定価: 5,278円+税



豪華2枚組みDVDをセット!!

『この空の花 -長岡花火物語』本編

メイキングムービー +
映画の根『この空の花 -長岡花火物語』全記録



『この空の花』絵ハガキ(10枚)

長岡ロケ地マップ

ブックレット

豪華封入特典付き (初回限定生産)

◇特典映像

- ・森民夫長岡市長 × 大林宣彦監督スペシャルトーク
- ・『この空の花』予告編/TVスポット集/特報
- ・長岡シティガイド

◇封入特典

- ・長岡ロケ地マップ
- ・ブックレット
- ・『この空の花』絵はがき(1枚)※絵はがきはランダム封入となります。

© 2011「長岡映画」製作委員会 PSC

あの混沌の、本編 2時間41分は如何にして創られたのか!? 5時間53分のドキュメント・ムービー、ついに解禁!!



DVD

[商品番号:TMDV-002]

この空の花 - 長岡花火物語 DVD 通常版

- ◇特典映像
 - ・「野のなななのか」予告編
 - ・森民夫長岡市長 × 大林宣彦監督スペシャルトーク
 - ・「この空の花」予告編/TV スポット集/特報
 - ・長岡シティガイド
- ◇封入特典
 - ・長岡ロケ地マップ
 - ・「この空の花」絵はがき

[4,352円+税]

Blu-ray

[商品番号:TMBD-003]

この空の花 - 長岡花火物語 Blu-ray 通常版

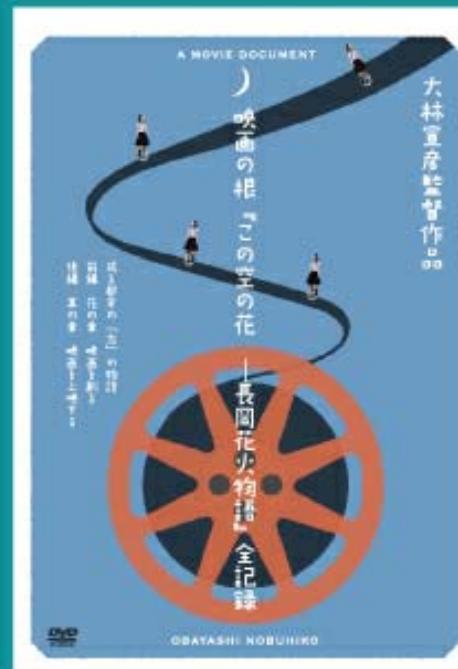
- ◇特典映像
 - ・「野のなななのか」予告編
 - ・森民夫長岡市長 × 大林宣彦監督スペシャルトーク
 - ・「この空の花」予告編/TV スポット集/特報
 - ・長岡シティガイド
- ◇封入特典
 - ・長岡ロケ地マップ
 - ・「この空の花」絵はがき

[5,278円+税]



<story>

天草の地方紙記者・遠藤玲子（松雪泰子）が長岡を訪れたことには幾つかの理由があった。ひとつは中越地震の体験を経て、2011年3月11日に起きた東日本大震災に於いていち早く被災者を受け入れた長岡市を新聞記者として見詰めること。そしてもうひとつは、かつての恋人・片山健一（高嶋政宏）からふいに届いた手紙に心惹かれたこと。山古志から届いた片山の手紙には、自分が教師を勤める高校で女子学生・元木花（猪股南）が書いた「まだ戦争には間に合う」という舞台を上演するので玲子に観て欲しいと書いてあり、更にはなによりも「長岡の花火を見て欲しい、長岡の花火はお祭りじゃない、空襲や地震で亡くなった人たちへの追悼の花火、復興への祈りの花火なんだ」という結びの言葉が強く胸に染み、導かれるように訪れたのだ。こうして2011年夏、長岡を旅する玲子は行く先々で出逢う人々と、数々の不思議な体験を重ねてゆく。そしてその不思議な体験のほとんどが、実際に起きた長岡の歴史と織り合わしているのだと理解したとき、物語は過去、現在、未来へと時をまたぎ、誰も体験したことのない世界へと紡がれてゆく——！



大林監督責任編集による“映画の秘密” 映画の根 「この空の花 - 長岡花火物語」 全記録



<プレミアムBOX封入・メイキングムービー>

あの混沌の、本編2時間41分は、まだほんの予告編に過ぎなかった！

あの2011年の暮れ、映画本編の編集を了えた時、その2時間41分という長さに驚く周囲に、「本当は6時間欲しいんだよ」と応えた。ならば今回の「全記録・6時間」版こそが、映画「この空の花 - 長岡花火物語」の本来の姿であるのかも知れぬ。それに撮影した順序に添って時系列で物語ることで、主題を「演繹」的に炙り出すことが出来、それは従来のいわゆる「劇映画」のように、撮影後の素材を脚本に従って編集で整え直し、「帰納」法で物語るのとはまた異なるカオスを醸造する。これぞあの「3・11」以降、僕らが漸く辿り着くことの出来た表現のリアリティ。即ち「観察力」の無力を実感することから生まれる「絶望」の果てに乾つ、「想像力」からこそ手織り寄せ得る、「希望」の発見であった。

2014年3月1日、本映画はかのマーシャル諸島「ビキニ環礁」に於ける水爆実験・60周年国家事業の中で上映されている。共に核被爆を体験した両国が手を結んで、世界に向けて「平和」を発信しようという試みだ。映画本編に「エンドマーク」がつけられなかつたように、この「全記録」にもまだエンドマークは無い。

映画作家 大林宣彦